

花まるたより

2023
11

INDEX

高濱コラム
タケノコシート & フライドバックシート
レインボータイム
レインボータイム 〈アルゴクラフ〉
アルゴクラフの授業
聴人の無人島レポート
花まるリビング
おはなしのキッチン
平沼純の旅する読書
アノネラウンジ
Rinコラム
とある花まるの先生が、 わが子の中学受験に直面した
花まるコラム
花まるファミリー





試練よ来たれ！

10月、とても嬉しいことがありました。

現在私が担当している幼稚園教室の年中クラスに、二人も教え子の子ともがいてくれたのです。私は1年生と3年生の授業、高学年のSなぞ解説、中学生自習室クラス（にらみを利かせること）の担当で、中年長クラスの授業は基本的に若手社員が担当しているのですが、まず一人の男の子Yくんについて、教え子Sちゃんの子だという情報が入りました。近づいて話したのですが、言われれば確かに顔もよく似ている。「へー、Sちゃんの子なんだねー」というと怪訝な表情でした。多分私は孫を見る祖父の目になっていたと思います。

それで大騒ぎしていたら、その時間を取り仕切っている副教室長の上武が「確かTくんのお母さんも、そうだったと聞いた気がします」と言っています。おいおい早く教えてくれよ、と上武に言いながらTくんに近づき話しかけました。「お母さんのお名前、何て言うの？」「M」「M？まさか結婚する前のお名前はOじゃない？」「…おばあちゃんはおだけど」「わー!!」と私一人が大声を出してしまいました。「そうかMの子か、Mの子か…」

こういう話をする、20年前の教え子をよく覚えていますが、と言われます。正直言って老化も入り全員が全員というわけではないでしょうが、とはいえ大半記憶していると思います。特によく覚えている子の特徴は「エピソードがあること」です。Sちゃんは、三きようだいで通っていたこともあるし、忘れられないのは、サマースクールの修学旅行コースの前身ともいふべき「沖繩子ども冒険島」を伊江島で開催していたときのこと（当時は、那覇空港から本部の港までもフェリーに乗せるも降ろすも、バスの運転は私自身がしていました）。一週間の日程すべてが、遠ざかってくれない迷走台風に邪魔されて、風雨のなかとうとう一度も海に行けなかったのです。特に6年生だったSちゃんたちには、沖繩の青い空と海を期待していたであろうに、と申し訳ないような可哀そうな気持ちで、「大学生になったら、リーダーになってまたおいで」と言ったのを覚えています。とても奥ゆかしく、他人を中傷したり悪口を言ったりすることのない性格で、その沖繩でも一度も愚痴を言うことなくいてくれたからこそ、「いつかきれいな海を見せて

あげたいな」と思ったものです。そんなSちゃんがいまお母さんとなって、子どもを預けてくれている喜び。いつかこの息子ちゃんと修学旅行や無人島に行けたら感慨深いだろうなと想像しています。

一方、Mちゃんの記憶はさらに強烈です。1年生のまる一年間「お母さんつきでないと授業を受けられない子」だったのです。確か2年生はお母さまが後方の席で見守るもまだまだ一緒に耐えられない日も多く、3年生でも時々そうでした。分離不安。号泣してお母さまの手を離さなかったMちゃんの姿は、忘れられません。当時一番焼き付いているのは、お母さまの表情です。このような場合、「ほかの子はできるのに、うちだけなぜ」などと、「比較の病」「人目の病」に陥りがちだし、そのことによって心がネガティブになったりしうのですが、一言でいえば「覚悟」が感じられ、凜とした表情で座っておられるのです。

さて授業後、幼稚園の別部屋での延長のお預かり組に移動するYくんのお母さん（Sちゃん）とは会えないとあきらめましたが、親となったMちゃんに会えるとワクワク

新刊情報

『1日1ページで頭がよくなる！』

まいにち知育クイズ366』

高濱 正伸 監修（日本図書センター）



1日たった3分のクイズあそびがこどもの頭をよくする！
どうぶつ・しょくぶつ・こんちゅう・からだ・たべもの・よのなか など好きが見つかる&興味が広がる全18ジャンル。
たのしみながらクイズを解くことで、好奇心・語彙力・集中力・数的感覚・探求心など、「まなびの土台」となるさまざまな力を育てます。
多彩なジャンル&わかりやすい写真とイラスト&3択クイズで、毎日飽きずにチャレンジしやすい！

『こどもロジカル思考』

なぜ論理的に考えることが
大切なかがわかる本』

バウンド 著 茂木秀昭 監修
(カンゼン)



社会を見渡すと、感情的な衝突や堂々巡りの議論などがあふれている。わが子には生きていくなかで、意味ある思考と対話ができる人になってほしいと考えるならば、本書をおすすめしたい。
「主観と客観」「感情と理性」「各種バイアス群」など、意見の異なる他人が大半の世界で生き抜くために必要な論理思考の基本を、分かりやすく教えてくれる。大人たちこそ読むべきかもしれない。

高濱の本棚

ワクしていました。そして外に出てみると、そこにいたのは、おばあちゃんとなったMちゃんのお母さまでした。20年の時空を超えるほどの若々しさあふれる姿で、あのときと同じお母さま。「Mのお母さん！」と声をかけると、「よく覚えていますね」とおっしゃいましたが、「忘れるわけじゃないじゃないですか。もう、ほんつとに本当に一年生の頃は大大変でしたよね」と言っと、満面の笑みで「ねー。もう！」と一言。そつえば中学生時代にはMちゃん本人も「(お母さんがいないと学校にも花まるにも通えないという) そんな頃もありましたね」と幼かった頃を懐かしんで語るくらいたくましく育っていましたね、などと短い時間ですが、ひとしきり思い出話に花が咲きました。

私は、泣き言も言わず子どもを信じてあんなに頑張り抜いたお母さまが、今こうして幸せなおばあちゃんとして笑っておられる姿に、「よかったですねー」という気持ちで泣きそうになりました。

こういう一人のお母さんの奮闘と克服、そして幸福へという歴史の一事には、いろいろな学びがあるなとも感じました。一つは、ちよび今年も、教室まで送ってもらったはいけれど、いざお母さまが帰ろうとするとたまに泣いてしばらく離れられない

1年生の子がいるのですが、若いお母さんたちが、こつこつ先輩の実話を聞くことで、とても参考になるだろうということ。そして、Mちゃんとお母さまのかかわりを真横で見えてきた者として、「大丈夫ですよ!」「大らかな気持ちで一緒に見守りましょう」と言い切れるほどの自信を、私自身がもっているということ。現場での経験には、宝物が転がっています。

さて、話が戻りますが、どうして大変だったり可哀そうなエピソードがあったりすると長期に記憶しているのでしょうか。それは、一言でいうと「困っている子には、大人の心が動く」からではないでしょうか。特に問題がなくてもいつでも子どもはかわいのですが、困っていると何とかしてあげたいと心がグイと動く。困りごとの程度が大きければなお一層動く。そしてそのことによって心に刻印が押されるように印象深く記憶する。

もしそうだとすると、昔から「できの悪い子ほどかわい」「手がかかる子はかわい」などと言いますが、子どもが困らせてくれることは、実は生きがいにつながるとも言えるかもしれません。

最近の講演では、辛いことやぶつかり合いなどを回避させる、事なかれの過干渉が子どもの将来にとって問題で、こども園や

幼稚園・保育園・学校に行く意味は、トラブルや失敗や挫折の経験とその乗り越え経験ができることにある、とすら言っています。一見「負の体験」に見えるけれど、本質的には成長のために必要だからこそ、実は子どもに困らされることは、甘美な充実や喜びを与えてくれる一面も持っているのかもしれない。わが子に無事でいてほしいと守りたい親心は偉大です。だが同時に、強くたくましく育つためには「愛するわが子に試練よ来たれ!」と願うくらいで、最もバランスが取れているのではないのでしょうか。

花まる学習会 高濱正伸

感染症の予防について

日頃から、感染症への対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。寒さが厳しさを増す季節となりました。空気が乾燥し、気温が低くなる冬期は、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスによる胃腸炎やマイコプラズマ肺炎等、さまざまな感染症が流行する時期です。くれぐれも体調にご留意いただくとともに、感染症対策にご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ①手洗い・うがい、手指消毒を徹底してください。
- ②発熱や体調不良等が見られる場合は、通塾をお控えください。
- ③お子さまが通われている園・学校で休校・学級閉鎖・学年閉鎖等の措置が取られた場合は、担当教室長までお知らせいただくとともに、通塾をお控えください。
- ④インフルエンザ等の予防接種をお受けになることを推奨いたします。

教室で元気な子どもたちや保護者のみなさまにお会いできることを楽しみにしております。何かお困りの際は、お気軽に教室長までご相談ください。

花まるだより 2023年11月号

(令和5年11月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱正伸
企画・編集 久慈菜津紀
編集 金井彩・清田奈甫
坂田翔・高橋奈穂
デザイン 春日梨沙・西野奈布子
印刷 アークランド株式会社

年内最後の授業で、年中～3年生には「タケノコシート」を連絡帳に貼ってお渡しします。4～6年生には「フィードバックシート」を、スケジュールを記入する青いシートに貼っています。



こん げ っ

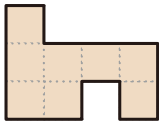
今月のレインボータイム

出題：坂田 翔 (花まる学習会)

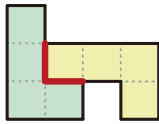
かいどう
解答はこちら！

れい

ぶんかつ
分割したら…



おな かたち
同じ形！



【ぴったりにはぶんかつ】

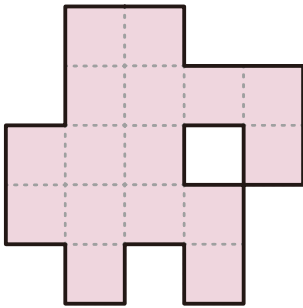
おな かたち ふた
同じ形が2つできるように、

すけい せん ひ
図形に線をひきましょう！

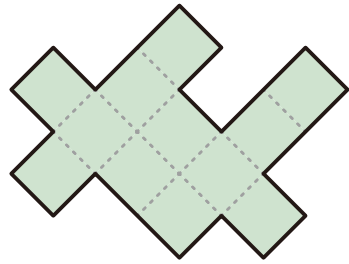
うらがえ おな かたち オッケー
「裏返したら同じ形」も OK です！



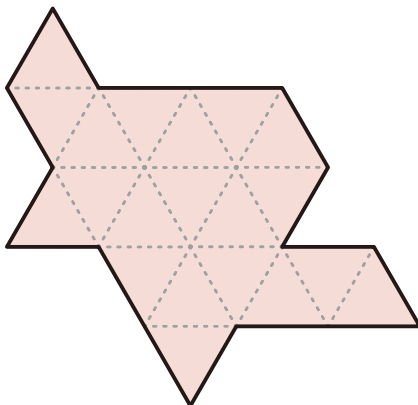
レベル30



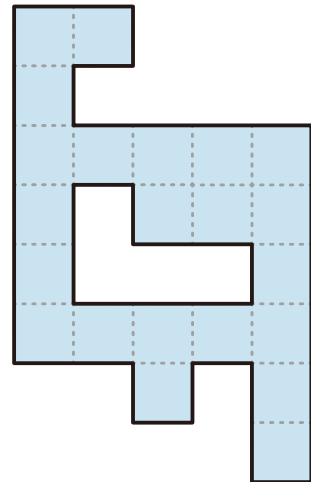
レベル10



レベル99



レベル50

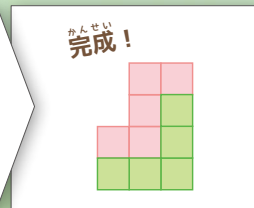
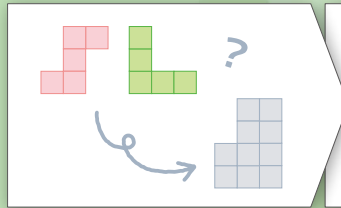


レインボータイム 特別編！

出題：ALGO CLUB

【ながしかくキューブ】

指定されたピースを使って
長方形を作ろう！



かいとう
解答はこちら！



レベル10

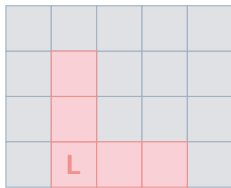
使用ピース

L

M

N

P



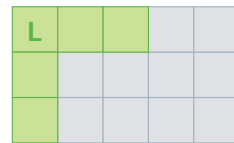
レベル1

使用ピース

L

M

O



レベル70

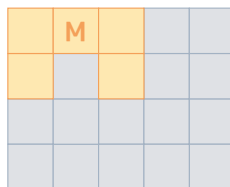
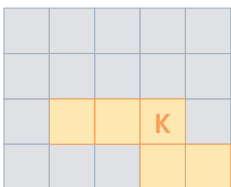
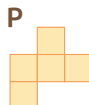
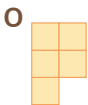
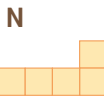
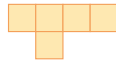
使用ピース

J

K

L

R



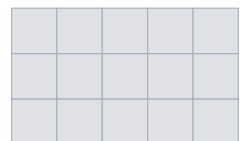
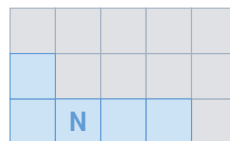
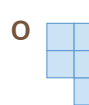
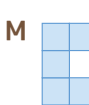
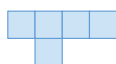
レベル50

使用ピース

J

N

R



数理教室 花まる学習会 ALGO CLUB の授業

5・6年生

思考タイム

思考タイム

議論や対人ゲームのなかで、自分の考え方を伝え、他者の考え方を学び、より洗練された思考を習得します。



教具

立体・平面のバズルで図形センスを磨きながら、論理的に考える習慣を身につけていきます。



I キューブ



ジオ 1・2



マジカルスティック

年長・1～4年生

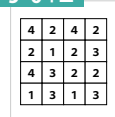
教具

プリント

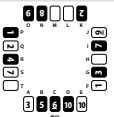
プリント

学年に合わせた思考プリントに取り組みます。問題が解けたことに満足せず、なぜそうなるのか「説明」をすることで、抜け目のない論理的思考を磨きます。

5・6年生

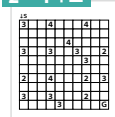


S チャレパー

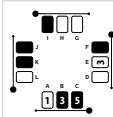


ディベート

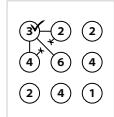
2～4年生



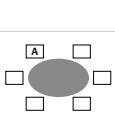
迷路



詰めアルゴ



ナンバーリンク

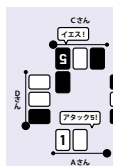


チャレパー

アルゴゲーム

アルゴゲーム

論理的に考え相手のカードを当てていく整数対戦ゲームです。場や手札のヒントから推測する論理的思考、短い時間で考え抜き決断をする判断力、相手の思考を読み取る客観視点を得意にします。



アルゴゲーム

※年長・1年生はプリントなし

2023・2024年度生

体験申込 受付中!

アルゴクラブ HP <https://www.hanamarugroup.jp/algo/> ▶▶▶



対面教室



目の前の仲間と真剣勝負

個人で記録を目指すだけでなく、目の前の仲間と協力したり、競い合ったりしながら、臨場感あふれる雰囲気の中で思考体験を積み重ねます。毎回のアルゴゲームでは、本気で考え抜く楽しさを感じながら、手に汗握る真剣勝負の醍醐味を味わえます。

オンライン教室



安心して没頭できる

ご自宅などリラックスできる空間で問題に没頭しつつ、グループビデオ通話で仲間と交流しながらご参加いただけます。花まる学習会が独自開発したオンライン授業システムで、対面ながらの臨場感と緊張感を味わえるアルゴゲームを楽しめます。

職人の無人島レポート 30

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点でもでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

社員開拓団①

闇のなかで声が聞こえる。「おい…どういうつもりだ…そういう言葉はオレたちの世界にはねーんだぜ…『事業は何か』そんな言葉は使う必要がねーんだ。なぜならオレたちがその言葉を頭に思い浮かべたときには！もう顧客からスタートしてるからだッ！オレたちのマネジメントは、一度理念を額に入れればいつまでも成功が続くと信じているようなおとぎ話とはわけが違うんだから…いつも『事業は何か』と心のなかで思ったならッ！そのときすでに顧客の定義が始まっているんだッ！『顧客は誰か』なら使ってもいいッ！顧客を定義…せよ…せよ…」声は反響しながら遠のいていき、やがて消えた。入れ替わるように戻りつつある意識のなかで、私は声の主を思い出そうとする。そして目が覚めた。「ド、ド、ドッ！ッ！兄貴！」

というようなことは一切ないのだけれども、無人島の顧客が誰なのかについて考えたことがある。まず子ども。次に保護者のみなさん、そして花まるの社員である。将来的には花まるにかかわりのない一般の人たちにも開かれた島を目指したいが、当面はこの3つの顧客に対して島の教育資源を提供することになる。

我々は社内の来島経験者を増やすことも重要視している。島の魅力を伝える手段として、実体験を話す以上のことではないからである。我々が子どもたちに直接会いに行けないぶん、島での体験を周囲に伝える先生が各地で増えれば増えるほど、島の魅力は広まっていく。それに、「遠くの親戚より近くの他人」のように、物理的な距離が人を疎遠にさせていく力は無視できない。無人島は、外に内に知ってもらう努力を常にし続けなければならぬのだ。そんなわけで「開拓団」に加えて「社員開拓団」を始めることにした。

「無人島に行きたいけれど行けない社員ランキング」というものがあつたなら、長い間1位の座をめぐつてのぎを削っていたのが、「ばんちょう」こと川波と、「ライガー」こと新井であろうと思う。ばんちょうは、一見シャゼリゼ通りで何度聞いても覚えられない大種の犬を連れていそうなママだが、初めて花まるの野外体験に「サバイバル」をテーマにしたコースを作ったグレートな方である。ライガーは、そのコース「サバイバルキャンプ」を引き継ぐ現責任者で、山村留学や農業体験など自然学習の現場で広く活躍している。サバイバル好きという共通項を持つ2人だが、いままでずっと「無人島に行きたいのに行けて

いない」状態だったのは単純に多忙だったからである。しかし、ついにライガーの来島が決まった。ライガーだけ。熾烈な首頂争いを制したのは、ばんちょうであった。グレート。

初夏。1泊2日という限られた日程であるにもかかわらず、サマースクールの準備のためライガーが埼玉から来てくれた。広島空港で合流し、そのまま島へ向かう。

(つづく)

花まる学習会 橋本 一馬



わんがんと 念願の来島を果たしたライガー

無人島企画や最近の様子を配信中！ぜひ登録してね！



カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のモデルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。2022年から広島に移住し、無人島開拓に携わっている。ソロキャンプが趣味。





花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

29

勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小3・小1・1歳児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



子どもは待ってくれないけれど、親は待ってあげるとよい

今回のコラムは「子どもを待つ」というテーマで書こう、と思ったときに、正直（子どもは親を待つてくれないのに、親は子どもを待たなくちゃいけないってけっこう理不尽だな）と思ってしまいました。子育てはそういうもの、と言ってしまえばそれまでですが、矛盾しているように感じる本質、子育てに限らず、世の中にはそういうものと向き合わないといけないことも多々ありますよね。

ある日、社内で「家でもできる思考力の教材 アブリが増えてきているなかで、あえて花まるの教室に通わせる意味は？」という話題になったときに、代表の高濱が「あー、親は、待つことに難さを感じる場合が多い。手が止まっているときでも、頭をぐるぐる動かしていることを感じ取って待つてあげる空間が必要」と一言。

……。親としては、とっても耳が痛い言葉でした。

数年前になりますが、長男がまだ3、4歳ぐらいのとき、保育園の先生から「Aくん、そろそろヨーグルトのふたを自分で開けられるように練習したほうがいいですよ」と言われて、衝撃を受けたことを思い出しました。そもそも、私は「子どもがヨーグルトのふたを自分で開けられないことに気づいておらず、日々、朝のルーティーンの時短、効率化しか頭になく「これ開けて」と言われたら「はい、開けたよ！早く食べて！」ということを毎日繰り返していました。

これは一例ですが、ほかに、「親が無意識に子どもを待てていない」ことが、いまでも生活のなかに勉強のなかにたくさんあって、その一つひとつは小さくても、じわじわと、子どもの生きる力や考える

力を奪っていくているかもしれない。

そのことに気づいて以来、完璧にはできないまでも、少しずつではありますが、家庭でも「待つ」を意識するようにしています。

——宿題をしたくない、と泣きわめく子がいても、なだめるのではなく「待つ」

——姉と弟がけんかをしていたとしても、すぐに仲裁するのではなく「待つ」

——読解の問題で「なに、これ、わからない、答えを教えて」と言われても、すぐには教えずに「待つ」など。

正直、自分のパワーが十二分ないと、この「待つ」時間はいつたい何の修行だろう、と投げ出したくなることもたくさんあります。でも「子どもを待つ」ことの裏側にあるのは、きっと、「何があっても、あなたのことを信じているよ、味方だよ」という親からのメッセージ。「待つだけでは解決しないので導いたほうがいい場面」を見極めつつも、ここは待つてあげても大丈夫というときは、「待つ」ことを意識する。

ちなみに「待つ」修行がつかうときは、私はいろいろ小手先の技を駆使しながらやり過ごしています……。

◎片耳だけイヤホンをして好きな曲を流して心をこちらに傾ける

◎（前にもコラムで紹介しましたが）あえて、075倍速で動く自分を意識する。

◎勉強面で「待つ」必要があるときは、この事例をどう仕事のネタにするかを考える

などなど。心を冷静に保つために、どうやって自分と子どもを俯瞰してみる状態に持っていくかがポイントな気がします。

——子どもは待つてくれないけれど、親は待つてあげるとよい——

なんとなく語呂がいいこのフレーズを忘れずに、せわしなくながちな子育ての毎日を、ゆつくりゆつくり過ごしていきたいと思います。

花まる学習会 勝谷里美

テーマ…待つてあげたい、
子どもの挑戦



『こんとあき』
林 明子 作
(福音館書店)

ぬいぐるみと二人で電車に乗っておばあちゃんの家に向かう女の子のお話。小さい頃に読んだときはハラハラドキドキしましたが、親になってから読み返すと、本には描かれていない親側の「送り出す勇氣」を想像して、ぐっとくるものがあります。



『そっと』
瀧村 有子 作
まるやま あやこ 絵
(PHP研究所)

お姉ちゃんになる女の子の気持ちを描いた『ちょっとだけ』の絵本の作者。3才の女の子のさまざまな挑戦を見守るお母さんの空気感が素敵です。



まだ11月ですが、街を歩いてもクリスマスを意識したイルミネーションを多く目にするようになってきました。今年のクリスマス、みなさんはどのように過ごされるでしょうか？

『クリスマスのまえのばん』（クレメント・C・ムーア）や『ちいさなもみのき』（マーガレット・ワイス・ブラウン）、『さむがりのサンタ』（レイモンド・ブリッグズ）など、クリスマスを題材にした絵本は数多く存在しますが、それらをも解いてみると、日本とはまたちがった外国のクリスマスの風習が垣間見えて興味深いです。

オランダを代表する児童文学作家であるリタ・テークヴィストと娘のマリット・テークヴィストによる『おじいちゃんとのクリスマス』（富山房）は、東欧の国チェコのクリスマスの風景が描かれた、一読忘れがたい絵本です。

舞台はチェコの首都プラハ。町に一人で暮らすおじいちゃんのために、孫のトマスはクリスマスの夜に食べる生きた鯉を、マーケットで買ってきました。チェコの古都では、クリスマスのお祝いにチキンやターキーなどではなく、鯉をフライなどにして食べる風習があるのです。ところが、トマスは家に持ち帰った鯉に「ベッポ」という名前をつけ、かわいがるようになってしまいました……。

この物語は、絵本としては決して短くはないページ数を割いて、鯉やおじいちゃんに対するトマスの心情を丁寧に描いていきます。ベッポを家に持ち帰る途中でも、犬など

に襲われないよう守ってあげたり、弱ってきたら水をかけてあげたり……。本来であれば、クリスマスの夜に「食べられる運命」にあるベッポはどうなるのか？ トマスにとってきつと忘れられないクリスマスになったであろう、この物語の心温まる結末は、ぜひこの絵本をひも解いてご確認ください。

ちなみに、チェコのほかにもポーランドやドイツの一部地域でも、クリスマスに鯉を食べる風習があります。それは、かつて相次ぐ戦争により慢性的な食糧不足が発生した際、比較的短時間で成長するタンパク源である鯉に注目が集まったからとのこと。また、多くの鯉料理にはポテトサラダが添えられますが、それも同様に、戦時下で食糧としてのジャガイモがよく育てられていたことの名残であるようです。いわば、クリスマスの鯉料理とポテトサラダは、東欧の人たちにとって「生命の象徴」とも言える料理かもしれません。

現代の日本ではなかなか生きた鯉を買って自宅で料理するのは難しいですが、たとえばトマスとおじいちゃんのように「鯉の形をしたクッキー」を焼いてみたり、たっぷりのポテトサラダや、鯉に見立てた別の魚料理を作ってみたりすると、一味違うクリスマスになるかもしれません。

スクールFC 平沼 純



『おじいちゃんとのクリスマス』
リタ・テークヴィスト 作 絵
マリット・テークヴィスト
大久保 貞子 訳
(富山房)



スクールFC
ひらぬま じゅん
平沼 純



魚のポテトサラダ

さきょうじかん 30分 難易度: ★★☆☆☆

レシピ・写真提供: 料理家 江口 恵子 (natural food cooking)



recipe

材料

ジャガイモ(中)……6個
酢……大さじ1
たまご……1/4玉
きゅうり……1本
パプリカ(赤)……1/2個
塩……小さじ1/2
ゆで卵……2個
マヨネーズ……80g

作り方

- ①ジャガイモは皮を剥いて3〜4等分に切って鍋に入れる。
ジャガイモがかぶる程度の水を注ぎ、塩(分量外)少々を振って火にかける。沸騰したら蓋をして弱火でジャガイモに竹串がすっと通るくらい柔らかくなるまで、12〜15分茹でる。
- ②お湯をゆでこぼし、鍋をゆすりながら底に残った水分を飛ばし火を止める。すりこぎ棒やゴムベラなどでジャガイモを潰し、熱いうちに酢を回しかけて全体をよく混ぜ、ボールに移して冷ましておく。
- ③玉ねぎは薄切り、きゅうりは2ミリ厚の輪切り、パプリカは半分をさらに縦3等分に切り横薄切りにする。ボールに入れて塩をまぶし軽く揉んで5分ほどおく。
- ④しっかりと水気を切った③、殻を剥いて粗く刻んだゆで卵を②に加え、マヨネーズを加えて満遍なく混ぜる。
- ⑤楕円形や長方形のお皿に④をこんもりと盛り付け、スプーンやお箸を使って魚の形に整える。

目・うろこに包まれるように、きゅうりやパプリカを回すように盛り付けます。



『学校の怪談』

岡崎 弘明 著
(集英社)

夏休みを目前にした終業式、不思議な力によって子どもたちが旧校舎に閉じ込められた。彼らに次々と襲いかかる怪奇現象。果たして無事に脱出できるのか——？ 1995年に公開された同名映画

を、独自の設定を加えてノベライズ化。単なるホラーものではなく、時をこえても受け継がれゆくもの、目には見えない絆、永遠の夏の記憶を描いた物語です。



『魔女に会った』

角野 栄子 文・写真
みや こうせい 写真
(福音館書店)

2018年4月に国際アンデルセン賞を受賞した著者(代表作:『魔女の宅急便』)による、

世界の魔女を紹介する写真絵本。ドイツやベルギーでいまも行われる魔女祭り、火あぶりの刑を再現した猫祭り……。終盤では、作者自身がルーマニアに住む「現代の魔女」を訪れたエピソードが描かれます。ちなみに、今年11月にオープンする「魔法の文学館(江戸川区角野栄子児童文学館)」にもぜひご注目を。



『かすみ川の人魚』

長谷川 まりる 作
吉田 尚令 絵
(講談社)

第55回日本児童文学者協会賞
新人賞受賞作。学校近くのかすみ川で

見つけて飼ひ始めたものの、やがてとんでもない事件を起こした一匹の人魚との思い出……。7月号で紹介したファンタジックな『人魚の夏』(嘉成晴香)とは異なり、この物語の人魚はかなりミステリアスで不気味な存在。終盤で登場する「謎の少女」は結局誰だったのかなど、多くの謎が解明されないまま終わる、非常に独特な読後感です。



Vol.50

平沼 純の

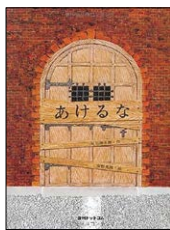
～「異世界」へのひみつの扉～



『えほん 遠野物語 ばけもの』

柳田 国男 原作
京極 夏彦 文
飯野 和好 絵 (汐文社)

民俗学者・柳田国男の『遠野物語』が、京極夏彦の手により絵本シリーズ化され、今年2023年に全16巻が堂々完結。ノリコシ、抜け首、謎の踊るウサギ……。遠野に伝わるこの世ならざる存在——「ばけもの」たちの物語と古からのメッセージに、いま一度耳を澄ましてみては？



『あけるな』

谷川 俊太郎 作
安野 光雅 絵
(復刊ドットコム)

「あけるな」と書いてある、謎の扉。意を決して開けた扉のむこう側にあったのは？ 静寂に包まれた森、鮮やかなビー玉、夕焼け、こちらに背を向ける一人の男、そして……。読む人の深層心理を刺激するかのよう、多彩な解釈が可能な絵本。淋しさ、恐怖、安心感、懐かしさなどさまざまな感情を呼び起こして鮮烈な印象を残します。



12月(第8回)「本×アート ～聖夜を彩るアートの世界～」

この冬、想像の翼を広げて目には見えなくても大切な、この世界の普遍的なことを考えてみませんか？ 古今東西のファンタジーの名作や、それらに関連する多様なアート作品、世界のクリスマスや冬の情景も多数紹介。音楽教育のプロフェッショナルとの共演でお届けする、この時期を彩るさまざまな音楽も必聴です！

12/14(木)・12/16(土) 10:30～12:00
参加費 一家族500円(税込)
申込締切 開催前日の19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2023/>





ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

1770-1827 ドイツ

vol.46

アノネ ラウンジ Lounge

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『オペラ』の一部を紹介！ クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



ベートーヴェン

ウィーンの街で、ピアニスト、作曲家として有名になったベートーヴェン。ますます活動に励もうというときに、試練が襲いかかります。耳が聞こえづらい、難聴という症状に悩まされはじめたのです。音楽家にとって耳は命とも言えるもの。ベートーヴェンは、難聴であることを隠すために、家のなかに閉じこもりがちになりました。

2年ほど経つと、耳はさらに悪くなっていました。ベートーヴェンは、いっそ死んでしまおうかとも考えます。「自分のやるべきことを成し遂げずにこの世を去るわけにはいかない」ベートーヴェンが出した答えは、難聴のままで、作曲家として生きていくことでした。ピアニストとしての活動はやめ、作曲だけに集中することになります。

『交響曲第3番』はベートーヴェン本人も満足の出来栄でした。ベートーヴェンはこの曲を、尊敬するある人に捧げようと決めていました。フランスで人々に英雄として慕われていたナポレオン・ボナパルトです。楽譜の最初のページには「ボナパルトに」という文字を書き入れました。

ところが間もなく、ナポレオンからフランスの「皇帝」になったという知らせが届くと、ベートーヴェンは激しく怒りました。「あの男も欲張りなただの人間にすぎなかったのか！」そしてすぐに、楽譜に書いた「ボナパルト」の文字を消して、「英雄」と書き込みます。

こうしてこの曲は、交響曲『英雄』と呼ばれるようになりました。音楽の歴史のなかに、まさに「英雄」のように登場した作品です。これまでにないドラマティックな表現で、交響曲の可能性を大きく広げたのです。(伝記教材『オペラ』より抜粋)

『交響曲第5番ハ短調《運命》』

Op.67 (1807-1808年)

『交響曲第3番「英雄」』の作曲から3年後に作られた『交響曲第5番』には、「運命」というサブタイトルがついています。「ジャ・ジャ・ジャ・ジャーン」というメロディで有名な作品です。「運命」というサブタイトルは、ベートーヴェンがつけたものではなく、のちにつけられたものです。

曲のなかに何度も出てくるメロディは、ベートーヴェンが散歩をしているときに聴いた小鳥の鳴き声から思いついたものでした。ベートーヴェンは、思いついたメロディをいつもノートにメモしていました。曲を作るときには昔のメモも使い、楽譜は何度も書き直して真っ黒になることも。自分が納得する作品をとことん追求めたのです。

いまでこそ傑作と言われるベートーヴェンの作品も、この時代の人々にはよさをわかってももらえないことが多くありました。そんなとき、ベートーヴェンはこう言って笑ったといひます。「これはあなたのための音楽ではなく、次の時代の人のための音楽だ」

交響曲『英雄』を作ってから10年間に、全作品の半分を作曲したベートーヴェン。それは、少しずつ進んでいく耳の病氣と闘いながら努力の末に生み出された傑作たちでした。

編集：佐藤 純純 (アノネ音楽教室)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRttYKplsuzalWxR0>

聴いてみよう
運命



こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

51

母からもらったもの

母はメモ魔でした。幼稚園時代の「えほんノート」や「連絡帳」は、園がおこなっていた取り組みでしたが、母の子育てを通して思いついたときに葛藤、幼い私のおもしろエピソードがたくさん残されていました。

子どもというのは不思議な生き物で、あんなに体は小さく未熟なようであり、実際には大人と同様の、またはそれ以上の感受性で人を観察し、わかっていくものだと思えてきます。

小学生以降、そのような子育てにまつわるメモは存在しないものかと思っていたら、母の遺品を整理していて最近発見したものがありません。それはノートをファイリングし直したもので、妹と私の家庭訪問や個人懇談のときの先生の言葉や、学校に提出するための、性格について「の」メモでした。

7才…いちびり（関西弁で調子者）。ひとりで何かを作ったり人に邪魔されず本をじっくり読んだりすることを好む。親しい友人がいなく思う。仲間と協調して遊ぶということではできているのか心配だ。決めたことはきちんとやり遂げようとする。

8才…長所：約束を守る。落ち着いて人の話に耳を傾け理解力があると思う。短所：初めてのことに臆病。人前で自分の意見を主張できない。どうして同級生と遊ばないのか？

9才…まじめ。臆病。言われたことはきちんとやるが、だらしない。「人間関係やクラスのみんなどの付き合いなどにおいてよく処理している」という先生からの言葉のメモのあと「家での態度とくらべて先生の評価は良すぎる。が、母親としてうれしく思う」という走り書きが残されていて、思わず笑ってしまいました。「家は羽を休めるための場所だから、外で頑張っている子は家でだらけて見える」の典型のようなエピソード。

雀の魂百までとはよく言ったもので、確かに私は親しい人の前ではよくふざけて、笑わせることが大好きです。根がまじめで約束を守りたいのはいまでもそう、それは母のいう「臆病」であるからこそ裏返しでもあるのかもしれない。まさに、長所と短所は表裏一体。

日々の充実したひとり遊びの世界は完成されていて、友達がいるかどうかは、私にとって大きな問題ではありませんでした。親しい友人がいるかどうかは、確かに人生の豊かさに直結しますが、幼少期に見つけていなかったとしても心配いらないですよ。世界は広く、出会いはこの先たくさん待ち構えています。

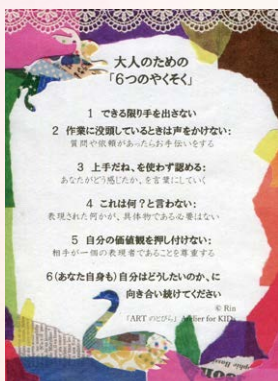
このメモのいちばんの発見は、母は私に対して「臆病」であることや、「あなたに友達

がないようだから心配だ」という雰囲気を感じていなかったことでした。そんなことを心配されているなんて、ちっとも知らなかったのです。

もしもそういうレッテルを自分に貼っていたら、私は「挑戦することが楽しい」と思う人間にはなっていなかったと思います。

まさか母はこの自分だけのメモを、いまさら私にネタにされるなんて思っていなかったはず。きつといま頃、空の上からちよつと言いつづけているかもしれません。でもいいのです。私は母を感じられて、いまでも幸せですから。

Rin（井岡 由実）



『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子どもたち』（実務教育出版）より

Atelier for KIDS



全国から
参加可能！

12/17(日) 10:30～12:00 重なるフェルトアート

対象 年長～中学生

定員 対面（お茶の花まるラウンジにて）20名

オンライン8名（ハイブリッド開催）

参加費 対面2,800円／オンライン3,100円（郵送料、税込）

申込期間 11/10(金)～30(木)19:00 <https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



RinさんのSNSなど
すべてのリンクは
こちらから▶



とある花まるの先生が、 わが子の中学受験に直面した

その8

もしや受験撤退！？
(6年生12月)



12月頭のある夜、運動不足解消のために、家族4人で近所の公園へ走りに行った。ポツポツとした蛍光灯だけが、公園のグラウンドを照らす。しばらく走っていたSが、ペースダウンし始め、すでに歩いていて私に追いつく。寒いねなんて話題のあと

「いよいよ受験が近づいてきたね」
と水を向けると、Sがポツツと言葉を吐く。
「...もう受験さ、いつ辞めてもいいんだけど」
「えっ!?」
「なんかもう疲れた」
「え!? ええ!? だって...えっ、だって...5年になるときに、Sがやるって決断したから...みんなでバックアップしてここまで来たんだけど...」
「だって、こんなに大変だと思わなかったんだ...なぜ...の延長の算数だけかと思ってたんだよ。四科目もあるなんて大変すぎる。H(仲の良い友人)も公立中だし...」
「えええええ、ウソでしょ(絶句)」
心の中では(いまさら、何を言っているの...! 課題も倍々になるって説明したよ...!)と言葉が溢れつつ、いつになくポツポツしゃべりのSの言葉に動揺して、
「そっかあ...そうなのかな...ちよっと...パパにも相談してみるよ...」
としか言葉を返せない私。そうこうしているうちに、次男のYが割り込んできて、その日は言葉を交わすこともなく、帰宅。ぐるぐるしたまま子どもたちは就寝時間に。

夜、夫に相談すると、あっさり返答が。

「少し前からよく言っていたよ、風呂で」
「えー、早く教えてよ! なんて返していたの?」
「大変になってきたからな、その気持ちはわかるけれど、ここまで来たらもうちよっとだから、頑張ろうって」
「な、なるほど...Sの反応は?」
「まあ、そうだけだとさくみたくない感じ」
...ここで選択肢は2つ。
①「家族会議を開く」
Sの言い分を聞き、今後の方向性を決めていく。気持ちを切り替えて中学受験続行か、もしくは勇氣ある撤退(高校受験へ回る)か...。
②「おごとししない」
気持ちを受け止めつつ、おごとしはせず、応援し続ける。子どもだって、モチベーションは上がり下がりする。ましてやSにとつて、はじめての試験といつてもいい場面。課題や過去問など、毎日やるべきタスクに追われて、朝から晩まで自由時間もほとんどなく、泣き言を言いたくなる状況なのは確か。

夫と話した結果、よくもわるくもまだ精神的に幼いSの内面を考慮し、我々の希望も加味して、②「おごとししない」路線で行こうとなった。なんだかんだ「やろう」と言うのと、「え〜」とか言いながらも素直に机に向かっているし、我々は引き続き応援するスタンスでよいのではないかと。一緒に最後まで頑張った結果、「終わりなければすべてよし」になる可能性を信じて。

家族構成

私



夫



長男 S



次男 Y



東京都内の私立中高一貫女子高出身。過去にはスクールFで中小学生の英語も教えていた、花まるの先生。ふと、ニュースを見て家族で「これってこういうことだよ」と話せるようになったのも、Sが中学受験の勉強をしたおかげだな、と気づく。佳境のこの時期、勉強面はどうしても気になったときだけ、ほんのり口を出すようにしている(加減が難しい...).

子煩悩パパ。たまにSと一緒に風呂に入って、男同士のバカ話をしている模様。Sが物語文の内容に共感できず、まったく点がとれないのを見て、「小学生男子に、女子の間のいざこざや感情なんて、読み取れるわけじゃない」とあっさりしたもの。本番で女の子が主人公の物語文が出ませんように...と切に祈る。

4歳から生粋の花まるっ子として過ごす。国語の過去問を解いている、時折「この論説文、おもしろいんだよ」と教えてくれるようになったことも、成長の一端。物事の新たな見方や知識をインストールする「学び」が「おもしろい」と思える感性が、Sのなかに育っていることが喜ばしい。

お調子者の保育園児。夕飯時は「納豆いやー」とわめくが、「一緒にお兄ちゃんを応援しよう。ネバネバは身体にいいの!」と主張する私に、ムリやり食べさせられている。

花まる学習会 川波朋子

さて、引き続き頑張っているSに、何かができることはないかと考えた結果、Sの集中力が上がるような食べ物! というところで、向かった方向は、食のバックアップ。主食の炭水化物のほか、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、カルシウム、鉄分をできるだけ3食全部で提供、というのが基本路線。そして血糖値を下げないために、補食も準備。料理下手な自分には正直きついが、できるところから。振り切れた私につきあわされているSは、毎晩の納豆に渋い顔...。

1月校の受験まで、あと正月1か月。受かっても落ちて、Sのためのよい時間にしたい、と祈るような気持ちが湧き上がる12月。

ビワの種を投げた理由

「あ！空がオレンジ色！」と、授業中に私が話をしているとき、突然大きな声を出して立ち上がったAくん。私の話を遮るその言動に、迷いはありませんでした。彼の視界の先には、窓枠と、綺麗な夕焼けだけが広がっていました。

Aくんの心は、夕焼けに驚愕みにされていました。たしかに、私の話などどうでもよくなるくらい綺麗な景色だったのです。「太陽が沈むのが早くなってきたね」「冬は暗くなるのが早いんだよ！」そんな話をしながら、みんなと幸せな時間を過ごしました。

子どもたちが、ほかの何かを差し置いて、衝動的な言動をするとき。その瞬間、子どもたちの心のなかには、抑えきれないほどの感動や知的好奇心が沸き上がっているのかもしれない。

私が小学2年生の頃、給食の献立にビワが出ました。ビワには、焦げ茶色の大きな種があります。私は、ビワの種を握りしめ、教室の窓のほうへ歩き出しました。外は土砂降りです。そして、窓を開けると、握った拳を大きく振りかぶり、校庭横にある花壇目掛けて、種を放り投げたのです。私の手から放たれた種は、

すぐに大粒の雨に紛れて飛んでいきました。その直後、「何してるの！」という大きな声に驚き、振り返ると、先生がすごい剣幕で立ち上がりました。「取ってきなさい！」と言われた私は、慌てて校庭に飛び出し、傘も差さずに種を探したことを覚えています。

幼少期から、「大人に気に入られない」「人に嫌われたくない」という想いが強かった私は、先生やまわりの大人に好かれるような行動を意識して生きていました。そんな私ですから、先生に叱られることなど減多になく、穏便な日々を過ごしていました。

それでは、なぜ私は「ビワの種を校庭に投げる」という、当時の自分からすれば突拍子もない行動に出たのでしょうか。

それは、「種を土に埋めなくても、芽が出ることがある」ということを聞いたことがあり、それを試したくなったからなのです。たったそれだけのことで、思うかもしれませんが、先生に叱られることよりも、「この種も発芽するかもしれない」という、自分の知的好奇心を満たすことを優先して行動しました。

花まるコラム

2023年11月

先生の大きな声を聞いたときは、とてもないことをしてしまった、と思いました。気が動転していた私には、雨が降っていることを気にする余裕などありません。びしょ濡れになって帰ってきた私に、先生は投げた事情を聞き、私が叱られることはありませんでした。

その日のビワの種を、団地の花壇の端っこに置いたことを覚えていています。なかなか発芽しないので、結局土に植えたのですが、すぐに発芽して驚きました。すくすくと成長するビワの木でしたが、団地の整備のため、花壇があった場所は自転車置き場となり、果実を実らせることはできませんでした。

しかし、「人目を気にすることなく、自分の心の赴くままに行動できた」という事実は、いまでも私の原体験として、心に実り続けています。夕焼け空に夢中になり、話を遮って発言をしたAくん。あの場に小学生の頃の私がいたら、「先生が話しているから静かにして！」と、先生に気に入られるような発言をしてい

たことでしょう。

分の心に素直に従って行動できることは、生まれながらにして子どもたちが持っている能力です。まだまだ知らないことだらけの世界で、無限のようにあるピースをはめていく作業は、人生を彩る行動そのものだと思っています。子どもたちの心が揺れ動くその瞬間を受け止めて、感動を分かち合えるような、そんな教室を目指してまいります。

花まる学習会 土方日向



風船クリエイター「ぶーにゃ」としても活動しています！





はな まるの教室長を紹介します！



花まるファミリー

…オンライン

アルゴ …アルゴクラブ

…アノネ音楽教室

…無人島

FC …スクールFC

Flos …フロス

Hanaspo

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！

 ライガー あらい せい たいろう 新井 征太郎 埼玉 東京都	 キーマ いはら けんた 伊原 健太 東京西 大阪府	 アーさん さかと ち とおる 坂口 徹 中京 熊本県	 しまむら しまむら ゆ か 島村 有香 埼玉 埼玉県
 シャドニ すずき かずあき 鈴木 和明 関西 静岡県	 アラポ なかやま しょうた 中山 翔太 東京東 アルゴ 埼玉県	 ハッシュ 職人 はしもと かず ま 橋本 一馬 関西 埼玉県	 コンガ まえはら まさ き 前原 匡樹 オンライン 鹿児島県



インタビューを
ラジオでお届け！



▲Voicy「幸せな受験ラジオ」

 イトール いとう じゅん 伊藤 潤 シグマTECH 代表 週2日の通塾、 夕食を家で食べて 難関校を目指す	 スマイル うちやま ともなり 内山 朝就 スクールFC 巣鴨校 校長 教える仕事への情熱！
---	---



おおつか たけし
大塚 剛史

FCオンライン校
校長

点数ひとケタの
中学生男子が
88点まで



やまもと よしや
山本 吉也

西郡学習道場
道場長

間違ってもいい！
子どもの心を育てます



まんまん

たかはま まさのぶ
高濱 正伸

熊本県

リーダーネーム

名前 所属 出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

11月の誕生花は シクラメン



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめに紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他己紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！